



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2020 4 月号

Vol.110

毎月1回発行(通巻110号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 http://www.JMMPA.jp/

第9回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会

創立10周年
記念大会
大会テーマ
決定!

医療経営士の時代

新たなる経営改革と地域社会貢献への挑戦

— 今こそ問われる“突破力”と“創造力” —

大会運営委員長からのメッセージ



創立10周年の節目を飾る大会
医療経営士の力を広くアピールしよう!

安藤高夫氏

日本医療経営実践協会関東支部支部長、
医療法人社団永生会理事長、衆議院議員

10月3日(土)、4日(日)に開催いたします第9回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会の大会テーマが、「医療経営士の時代 新たなる経営改革と地域社会貢献への挑戦—今こそ問われる“突破力”と“創造力”」に決定しました。一般社団法人日本医療経営実践協会の創立10周年を飾るに相応しい、医療経営士の力を広くアピールする大会にしたいと考えております。

さて、わが国では、人生100年時代を見据えた全世代型社会保障改革に向けて議論が進んでいます。医療においては、高齢化に伴う需要拡大への対応、生産年齢人口が減少するなかでの地域医療の確保、医師等の働き方改革・職場環境の改善、健康寿命の延伸に向けた予防・健康づくりの推進などが重要課題となりますが、社会環境の変化に合わせた新しい医療サービスを提供していくためには、地域や医療の実情を知る経営人材の「突破力」や「創造力」が不可欠です。まさに、医療経営士の活躍が期待される時代が来たと言えるのではないのでしょうか。

新型コロナウイルスが世界的に流行し、先行きが不透明な状況が続いていますが、早期に事態が収束し、万全の体制で大会を迎えられることを願っています。全国から集まった医療経営士の皆様が共に学び、考え、議論を交わすことで、よりよい地域や医療の未来を創り上げていくための大きな一歩を踏み出しましょう。

課題山積の今こそ 医療経営士の力が必要
東京大会の大会テーマが「医療経営士の時代 新たなる経営改革と地域社会貢献への挑戦—今こそ問われる“突破力”と“創造力”」に決定した。
急速に進む少子高齢化に伴い社会環境が激変するなか、医療機関の経営環境は厳しさを増している。高騰する医療費、疾病構造の変化、医師等の働き方改革への対応など、山積する課題の解決に向けて、医療提供体制の見直しは必須の状況

だ。こうしたなか、医療経営士に対する期待は高まっているが、地域社会や病院経営にどのように貢献していくべきなのか。一人ひとりが自身の使命を見つめ直す大会とすることを目指す。
協会創立10周年記念 例年以上に盛大な大会へ
今年には当協会の創立10周年にあたることから、今年大会では例年以上に充実したプログラム、豪華登壇者が検討されている。

午後2部には基調講演2本、各地域支部を代表して8人の医療経営士が登壇する「全国医療経営士地域支部代表者講演」などが予定されている。
大会2日目は、午前の部で、第2回「医療経営に関する研究助成」(指定課題部門)の最終報告会、第2回懸賞論文「日本医療経営実践賞」表彰式および受賞者による講演等を行う。午後の部では医療経営士による演題発表などを実施する予定だ。詳細は決定次第、情報提供していく。ぜひ、ご期待いただきたい。

10月3日(土)・4日(日)に六本木アカデミーヒルズで開催される第9回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会の大会テーマが決定した。大会運営委員長を務める日本医療経営実践協会関東支部の安藤高夫支部長から届いたメッセージとともに今大会の概要を紹介する。

医療経営士 3級 2級 資格認定試験

受験エントリー

4月3日(金)
開始!!

同僚や
お知り合いの方に
ご紹介ください

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日 **6月14日**

2020年

受験エントリー期間 **4月3日(金)~4月27日(月)**

受験料支払締切日 **4月28日(火)**

※受験エントリーにはマイページへの登録が必要になります。詳しくは協会ホームページをご確認ください。

	第30回「医療経営士3級」	第19回「医療経営士2級」
受験料 <small>※手数料別途</small>	9,100円(税込)	16,000円(税込) 両分野受験者 14,000円(税込) 分野受験者 (分野合格者)
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません	3級資格認定試験合格者かつ、本協会正会員
試験会場 (予定)	札幌・盛岡・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・鹿児島・那覇	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・那覇

団体受験 ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめてお申し込みできます。
◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります

「医療経営指導士」初の女性を含め、新たに2人誕生！

研究発表、執筆、WEB発信、大学講師……多彩に広がる活動に、「医療経営指導士」の存在感が増している。6人の「医療経営指導士」の活動実績の一部に加え、新たに誕生した2氏の決意表明を紹介する。

医療経営指導士 (登録申請順、敬称略)

- ▶ **平間康宣** (ひらま・やすのり)
医療法人仁友会 仁友会本部本部長、北彩都病院事務長
- ▶ **網代祐介** (あじろ・ゆうすけ)
社会医療法人社団光仁会 第一病院 医療福祉連携推進室室長、法人管理企画部兼務
- ▶ **山崎真一** (やまざき・しんいち)
広島大学病院 診療支援部 臨床検査部門部門長
- ▶ **林 賢二** (はやし・けんじ)
医療法人社団ときわ会 理事長付参与、地域医療連携推進法人ふくしま浜通り・メディカル・アソシエーション事務局
- ▶ **長 英一郎** (おさ・えいいちろう)
東日本税理士法人 代表社員、所長
- ▶ **大宮謙一** (おおみや・けんいち)
医療法人社団藤崎病院脳神経外科 脳卒中センター長、株式会社メディアライアンス 代表取締役

1級のみ許された特権 協会公認による活動を実現

2017年6月、それまで医療機関勤務者のみに与えられていた1級資格を、医療機関外勤務者にも門戸を開く形で認定要件の改正が行われた。それに伴い、人材活用を兼ね、1級資格認定者に資格の普及・質向上、研究会の活性化や地域医療支援等への貢献を目的に、同年9月「医療経営指導士」制度が発足した。

同制度は、1級資格認定者のみの特権で、協会への登録申請により、「医療経営指導士」「医療経営指導士」の名称を冠した試験対策講座や研究会・講演会の主催が可能となり、事業に伴う収益を得ることもできる。当協会ホームページで紹介

し、病院や企業から研修等の講師派遣の依頼を受けた際、優先的に斡旋を行う。

2018年4月1日に、平間康宣氏を第1号とする初の医療経営指導士が誕生し、この度、稲邊富貴代氏と三浦美樹氏が加わり8人となった。稲邊氏は女性初だ。

研究発表、執筆、WEB：注目を集める多彩な活動

現在、「医療経営指導士」の活動の場は急速に広がっている。網代氏と山崎氏は、共著で『なるほど、なっとく医療経営Q&A 60』

【中級】を執筆。全19冊に及ぶ中級テキストのサブテキストとして高い評価を得ている。網代氏は、会員情報誌『理論と実践』誌上においても、「医療介護連携上達のツボ」を好評連載中だ。

研究発表活動では、昨年の第8回「全国医療経営士実践研究大会」仙台大会の演題発表において、北海道支部の推薦を受けた平間氏が審査委員奨励賞を、東北支部の推薦を受けた林氏がイノベーション賞を受賞。

「医療経営に関する研究助成」では、大宮氏が、第2回(2019年度)の指定課題「医療の国際化」に応募し、「ベトナムにおける在宅医療の整備〜日本式の医療マネジメントシステムの応用〜」を研究テーマに、助成対象に選ばれ、第9回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会で、最終報告を行う予定だ。

地域自主研究会に関しては、平間氏が道北医療経営ネットワークを、網代氏が関東支部東京研究会を立ち上げ、地域研究活動の活性化の一翼を担っている。

『なるほど、なっとく医療経営Q&A 50』【初級】の著者・長氏は、現在WEBに注力し、YouTube「長英一郎 医療経営チャンネル」において、患者視点を重視した最新医療経営情報

の発信を精力的に行っている。

大学講師として 人材育成でも手腕を発揮！

大学関係では、2019年より文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」として採択された「北海道大学病院経営アドミニストレーター育成プログラム」において、平間氏が病院組織管理論の講座を担当。同じく2019年、朝日大学(岐阜)が大垣共立銀行と産学連携協定で開講した朝日大学地域社会連携講座「医療経営士養成プログラム」の最終講義において、網代氏が講師として「地域社会連携と医療経営士」をテーマに講演、大変好評を博した。朝日大学の派遣依頼を受けた当協会の推薦によって実現した。

こうして「医療経営指導士」の多彩な活躍は、医療経営士全体の活性化や社会的評価の向上に大きく寄与する。資格要件や申請方法の詳細は、当協会ホームページでご確認いただきたい。

新たに「医療経営指導士」に加わった2氏の声



稲邊富貴代 (いなべ・ふみよ)
医療法人沖繩徳洲会棟原総合病院副院長

徳洲会グループの医事部会は「この加算を取れ。あの加算も」と戦術を指導し、それが今日までの徳洲会の快進撃を支えてきましたが、戦略には言及しませんでした。医療経営士の資格取得を通じて医療経営を勉強して、初めて私は世の中が大きく変わりつつあるのだと知りました。「もう急性期至上主義の時代ではない……」と、グランドデザインに関わる戦略の必要性を痛感しました。その時、「医事部会は剣や槍の師範。医療経営士は軍師。そもそも役割が違うのだ」と感得したのです。諸葛孔明も黒田官兵衛も、武芸の達人ではなかったが、軍師として活躍しました。医事部会は戦術、医療経営士は戦略を提唱するのが使命だ、と。医療経営士の天命は、崩壊しそうな超高齢社会・日本の医療を守ることだと思います。細かい加算等の知識は医事課職員に及ばなくても、軍師として、病院の歩むべき道、グランドデザインを常に考え的確に提示できることこそ本分だと思います。医療経営士が正当な活躍の場を与えられることは、病院と日本の医療の未来を守ることにつながります。「医療経営指導士」という称号を用いることで、その役割や本質を少しでも多くの人に理解していただき、軍師として貢献したいと願っています。



三浦美樹 (みうら・みき)
大手医療機器メーカー勤務

医療経営士の資格取得の学習は、幅広くすべての医療に携わる人々にとって、自分の仕事が医療全体のなかで、どのような立ち位置にあり、どのような役割を担っているのかという理解を促し、仕事へのモチベーションを高めます。幸いにも第1回の「医療経営士1級」資格認定試験に合格し、その後、認定要件の改正によって1級資格認定者となりましたが、今後も「医療経営指導士」として、所属する組織内外での仕事の幅を広げることが、自らの成長にもつながるだろうと考えたのが申請の動機です。それぞれの分野の専門家が執筆されている全40冊にわたる医療経営士のテキストを見ただけで、医学の社会への適応である医療がいかに幅広く深いものであるということを実感させてくれます。それだけに「医療経営指導士」という肩書きを持つことはとても重たいことだと思っています。そんな専門性が深く、複雑系システムである医療経営の知識を学ぶ人たちの立場に立って、できるだけわかりやすく医療経営を伝えていければと思っています。また、地域と住民、病院など医療機関、そして医療とそのビジネスのために、より良い日本の医療の実現を目指した活動を展開していきたいと考えています。

愛知・岐阜の自主研究会が大盛況！ 医療経営士がともに学び、高め合う



[左]データの二次利用について学ぶ参加者(愛知)
[右]「ICTは導入することが目的ではない」と語る加藤氏

病院データの二次利用について ポイントを学ぶ

愛知県の医療経営士が主体となって運営・活動する「医療経営士キャリア・イノベーション研究会愛知」は2月8日(土)、株式会社日本医療企画中部支社セミナールームで第10回研究会を開催しました。テーマは「病院データの有効的な二次利用のポイント」。講師はメディカル・データ・ビジョン株式会社シニアプロフェッショナルの加藤彰裕氏が務め、自身が以前勤務していた医療機関のデータなどを例に挙げながら、病院内のさまざまなデータを経営に活かす「データの二次利用方法」についてポイントを解説しました。

病院経営においては職員や部門間で多くの情報を共有することが必須であり、今後はICTの進展に伴い、より高度な利活用が求められます。一方、実際の現場では、ICT導入に反対する医師の存在、ICTシステム

を運用するための人材の不足、費用対効果など、多くの障害があります。加藤氏はこうした現状を説明したあと、「ICTは導入することが最終目的ではなく、導入後にいかに活用するかが重要。病院全体で継続して課題解決に取り組んでいくべきだ」と述べ、講演を締めくくりました。

岐阜県内外から約130人が参加 診療報酬改定の動向を解説!

岐阜県の医療経営士が主体となって運営・活動する「岐阜県医療経営研究会」は1月24日(金)、岐阜市民病院サルビアホールで第2回研究会を開催しました。テーマは「2025年、

2040年に向けた病院経営『2020年診療報酬改定の動向』。株式会社メディセオ東海統括営業部の市川喜誉氏が講師を務めました。

市川氏は、2040年までの人口動態予測を踏まえながら、今次改定の重点課題である「働き方改革」に関する評価などについて解説。国が何を求めているかを把握することで法改正・診療報酬改定の理解がより深まるとし、「時代の流れに対応していくためにはSWOT分析などを用いてマーケティング戦略を策定し、病院ごとに今後の役割・機能をしっかり把握する必要がある」と訴えました。

当日は、県内外の医療経営士のほか、会場となった岐阜市民病院の職員など約130人が参加。市川氏の講演に熱心に耳を傾けました。

両研究会では今後も医療経営士が情報共有や意見交換できる場を提供していきます。皆様の参加をお待ちしています。



[左]約130人が詰めかけ、会場はほぼ満員(岐阜)
[右]株式会社メディセオの市川氏



次代を担う
医療経営人財を
サポートする
“医療経営士応援マガジン”

月刊医療経営士

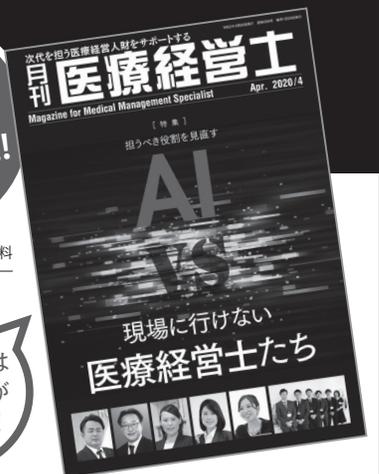
4月号
好評発売中!!

主な内容

- [特集] 担うべき役割を見直す
AI vs 現場に行けない医療経営士たち
- [特別座談会] 医療経営士が語る2020年度診療報酬改定
- [チーム医療経営士] 医療法人仁友会
- [ステークホルダーの医療経営士たち] 宮本亜由美(株式会社マイナビ)
- [医療経営士と多職種協働] 大平綾子(医療法人社団博慈会青葉さかい病院経営企画課主任 理事長・病院長秘書)

定期購読

- 選べる2つのコース ※いずれも税込、送料無料
- ① 会員限定年間購読コース
年間12冊(9,000円)
6冊(5,280円)
 - ② 月額払い購読コース
1冊(880円)
- 会員の方は
年間購読が
お得です!

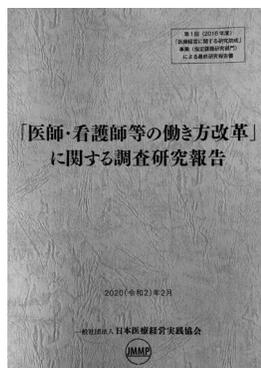


事務局 掲示板

「医師・看護師等の働き方改革」に関する
調査研究報告が完成しました!

第1回(2018年度)「医療経営に関する研究助成」事業(指定課題研究部門)による最終研究報告書が、「医師・看護師等の働き方改革」に関する調査研究報告(A4判・並製・本文1色・356ページ)としてまとまりました。

なお、報告書の本文につきましては、当協会ホームページ「研究助成最終報告書アーカイブ」に掲載しています。ぜひ、ご利用ください。

懸賞論文「日本医療経営実践賞」案件募集中!
賞金100万円、応募締切は5月11日(月)

当協会では、第3回(2020年度)「医療経営に関する研究助成」として、懸賞論文「日本医療経営実践賞」の案件を募集しています。選考委員会において公正かつ慎重に審査し、優秀な論文には賞金100万円が授与されます。

応募締切は5月11日(月)、当日消印有効。医療経営士の皆様からのたくさんの応募をお待ちしています。

重要なお知らせ

第29回「医療経営士3級」資格認定試験
試験中止に伴う振替受験のご案内

2020年3月1日(日)に実施を予定しておりました第29回「医療経営士3級」資格認定試験は、新型コロナウイルスの感染拡大により、中止とさせていただきます。

受験のお申し込みをいただきました皆様には、振替受験で対応させていただきます。2020年度実施の下記試験よりご希望回をお選びいただき、お申し込みください。

【「振替受験」対象試験】

- ① 2020年 6月14日(日) 第30回試験
- ② 2020年10月18日(日) 第31回試験
- ③ 2021年 3月 7日(日) 第32回試験

※対象試験以外での振替受験は認められません。ご理解・ご了承のうえ、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、個人受験の皆様へはメールにて振替受験のご案内をお送りさせていただきます。団体受験の皆様は所属団体のご担当者にお問い合わせください。

受験者の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。

PC、スマホ、タブレットで受講できる!

日本ヘルスケア経営学院【公開講座】WEBセミナー
2020年度診療報酬改定の重要ポイントを解説

日本ヘルスケア経営学院では、WEBセミナー「2020年度診療報酬改定 重要ポイント徹底解説」の第1弾として、株式会社メディアヴァ取締役の小松大介氏が講師を務める「診療所編」を配信中だ。第2弾「病院編」は全日本病院協会会長の猪口雄二氏が講師を務め、4月6日(月)より配信開始。配信期間はどちらも2020年6月30日(火)までとなっている。

新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、各地で診療報酬改定セミナーが中止となっている。日本ヘルスケア経営学院では、こうした状況を踏まえ、健康・安全面に配慮しながら改定の重要ポイントを学べるように、インターネットを通じて受講できるWEBセミナーの配信を決定した。詳細は日本ヘルスケア経営学院ホームページまで。ぜひ、多くの医療経営士に受講していただきたい。

【WEBセミナー概要】

- テーマ:2020年度診療報酬改定 重要ポイント徹底解説
- 講師:「病院編」猪口雄二氏(全日本病院協会会長)
「診療所編」小松大介氏(株式会社メディアヴァ取締役)
- 配信期間:2020年6月30日(火)まで
※「病院編」は4月6日(月)より配信開始
- 受講料:各2,000円+税
- 講義時間:各60分
- お問い合わせ先:

日本ヘルスケア経営学院

TEL:03-3258-2798

URL:https://hcmi-s.net/

緊急配信
決定!

講師を務める
猪口氏(左)と小松氏

賞金100万円!

第3回(2020年度)「医療経営に関する研究助成」

懸賞論文「日本医療経営実践賞」案件募集中

一般社団法人日本医療経営実践協会では、国民に安全な医療の提供を行う基盤を構築するために、医療および経営の研究と実践、現場感覚を備えた人材の育成、「民」主役の医療の確立に資することを目的とする「医療経営に関する研究助成」として、懸賞論文「日本医療経営実践賞」の案件を募集しています。

- 【募集内容】医療経営に関する論文でテーマは自由とする
- 【対象者】医療経営士および医療経営に携わる個人・グループ
- 【懸賞金額】優秀な論文を表彰し、併せて賞金100万円を授与する
- 【応募締切】5月11日(月) ※当日消印有効
- 【申請方法・詳細】必ず専用サイト(<http://www.jmmpa.jp/association/grant/>)をご確認ください
- 【審査・選考】選考委員会において公正かつ慎重に審査し、採否を決定します